

事後評価 計画名称 6 荒瀬ダム周辺地域における安心安全で住みやすい社会の実現に向けた対策の推進

【事業主体】
熊本県 八代市



計画の目標・計画期間

災害から地域住民の生命財産を守るため、避難路確保のための対策を着実に実施し、地域住民が安全で安心できる避難態勢の構築を進める。

[平成23年度～平成27年度(5箇年)] 【H25.3.31廃止】

H23	H24	H25	H26	H27
6 荒瀬ダム周辺地域における安心安全で住みやすい社会の実現に向けた対策の推進		廃止		

道路利用者

道路嵩上を“約450m”整備し、災害時の安全・安心な避難路確保

要素事業の進捗状況

単位:箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考	
				完了	継続		
A:基幹事業	市町村	道路修繕	1	1	1	0	道路嵩上
その他関連する事業	県	道路修繕	2	0	0	0	道路嵩上、路側構造物補強

目標達成状況

計画の成果目標	地域住民が安全で安心に避難できる避難路の整備率を0%(H22)から52%(H27)に改善する。				
定義及び算定式	安全で安心な避難路の整備率(%) = 避難路を確保するために対策を実施した道路延長(m) / 避難路を確保するために対策が必要な道路延長(4,130m)				
指標①	達成状況	道路嵩上の市道瀬戸石鎌瀬線(川嶽工区)の整備を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、地域住民が安全で安心に避難できる避難路の整備率改善の目標を達成できなかった。	当初現況値(H23当初)	最終値(H27末)	
			目標値	0%(0m)	52%(2,180m)
			実績値	-	11%(450m)

今後の方針

当初、荒瀬ダム周辺の道路嵩上げ、現道の路肩補強を関連事業として実施する予定であったが、他交付金において実施することとなったため、この整備計画においては、八代市の基幹事業のみ実施することとなり平成25年3月31日に廃止することとなった。今後は、荒瀬ダム周辺の整備事業について、新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努めていく。

事業箇所

